

報道関係者各位

札幌お化け屋敷2017
恐怖のかくれんぼ屋敷
ノルベサコラボメニューに関して

実施期間：2017年6月23日～9月3日

<概要>

この度ノルベサとしては3度目となる夏のお化け屋敷の実施にあたり、来られたお客様によりお楽しみいただけるよう、館内各テナントと協力し、恐怖のかくれんぼ屋敷特別コラボメニューを展開しております。個性的でちょっと怖いメニューが各店舗でお楽しみいただけます。コラボメニューの実施にあたり、プロデューサーの五味弘文氏よりメニューに関するコメントも頂きました。

※コラボメニューは各テナント内にてご提供しております。

五味弘文 お化け屋敷プロデューサー



1992年、後樂園ゆうえんち（現 東京ドームシティアトラクションズ）において、「磨赤児のパノラマ怪奇館」を開催し、大きな反響を呼ぶ。以降、毎年お化け屋敷を展開する中で、お化け屋敷にオリジナルのストーリーを持ち込み、お客様に役割を担わせることでそのストーリーに参加させるスタイルを確立する。その後も、赤ん坊を抱いて歩く「赤ん坊地獄」、手錠に繋がれて歩く「恐怖の手錠地獄」、本物の廃屋を移築してお化け屋敷にした「東京近郊A市～呪われた家」、靴を脱いで体験する「足刈りの家」、指切りをしてこなくてはならない「ゆびきりの家」など、様々なストーリーと設定によるお化け屋敷を作り続けている。これまでで、500万人以上のお客様に恐怖を提供してきた。近著：『人はなぜ恐怖するのか？』（メディアファクトリー）『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか～「恐怖」で集客するビジネスの企画発想』（角川oneテーマ21）小説『憑き歯～密七号の家』（幻冬舎文庫）

Q.最も食べてみたい食べてみたい コラボメニューはどれですか？

A メニュー名：恐怖のお化けもんじゃ
提供店舗：月島もんじゃ ムーの子孫札幌店



▼メニュー概要

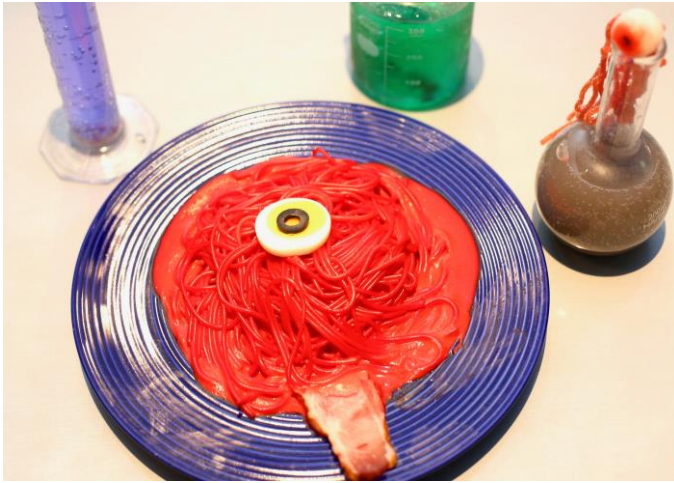
一見すると可愛らしく見えますが、焼き始めると恐怖が訪れるお化けもんじゃ。単品でも食べ放題メニューでもご注文を頂けます。

▼五味氏のコメント

一見すると可愛らしく、食べ始めると恐怖が訪れる、というのは、お化け屋敷の宣伝としても使えるキャッチーな打ち出しだと思います。怖くて楽しいのがお化け屋敷なので、それを言い当てているメニューです。食べて恐怖が訪れるのはちょっと敬遠したいですが、でもどんな恐怖なのか興味が湧きます。「食べたい」とは思わないですが、「食べてみたい」と思わせるメニューです。

Q.最も恐怖を感じたコラボメニューはどれですか？

A メニュー名：恐怖のお化けもんじゃ
提供店舗：月島もんじゃ ムーの子孫札幌店



▼メニュー概要

血を連想させる真っ赤なパスタの上に、卵で作られた目玉。味は2の次、ホラーな見た目を重視した、恐怖メニュー。

▼五味氏のコメント

「赤い」と言っても、なかなかここまで赤い食べ物は作れないと思います。ナポリタンをアレンジしました、というようなものとはレベルが違います。まさに、鮮血のような赤さです。これを食べるのは、勇気が要りますね。「味は二の次」と言い切っているのも、潔いです。その潔さがあったからこそ生まれた恐怖料理だと思います。お見事です。

Q.恐怖のかくれんぼ屋敷大賞は どのコラボメニューにあげたいですか？

A メニュー名：お父さんのトランクパンングラタン
提供店舗：串バル バトーベルテ



▼メニュー概要

今回のストーリーのトランクにちなんで作った記念メニュー。すずちゃんのお父さんの唯一の形見のトランクを開けると何が起こるのか...

▼五味氏のコメント

どれも力作ですが、今回のテーマである“かくれんぼ”に焦点を当てたこのメニューを、大賞としました。「恐怖のかくれんぼ屋敷」のすずちゃんは、トランクに隠れたために亡くなってしまいます。このストーリーまで再現しているのが素晴らしいです。このトランクを開けたら、一体何が出てくるのでしょうか？ ワクワクします。美味しそうなものも、またいいですね